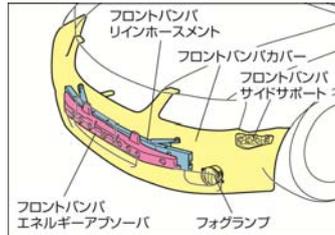


【第2回】歩行者傷害軽減ボデーの構造と診断ポイント ～フロントバンパエネルギーアブソーバ編～

1. 構造

- 右写真はフロントバンパ部です。
- 内蔵されているエネルギーアブソーバは、脚部への衝撃を緩和する機能を持っています。



トヨタプリウス30系

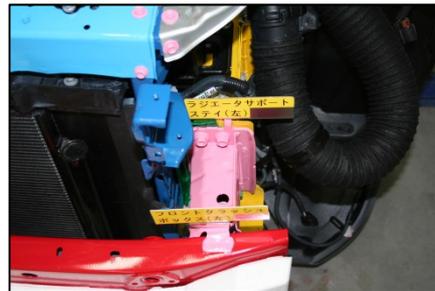


2. 前部衝突の事例

入力方向：正面方向からの入力により右前部を地上固定物に衝突

損傷程度：フロントバンパ リンホースメント 右側（クラッシュボックス部）が押し潰されています。エネルギーアブソーバも衝撃を受けていますが、形は元に戻っています。

■参考：トヨタオーリス150系 Frバンパカバー取外し状態



3. 診断ポイント

- エネルギーアブソーバの衝撃を受けた箇所は内部が押しつぶされて、緩衝材の役割ができません。（圧縮を受けた箇所にはシワが発生します）
- エネルギーアブソーバは形状の復元性が高いので衝突後に元の形状に戻ります。見た目では損傷が分からなくても、エネルギーアブソーバの後部にある部材・部品の損傷が確認できた場合にはエネルギーアブソーバが損傷しています。（バンパ リンホースメントとフロントサイドメンバ先端締結部付近の損傷の有無）

※これらの場合、エネルギーアブソーバは取替です。